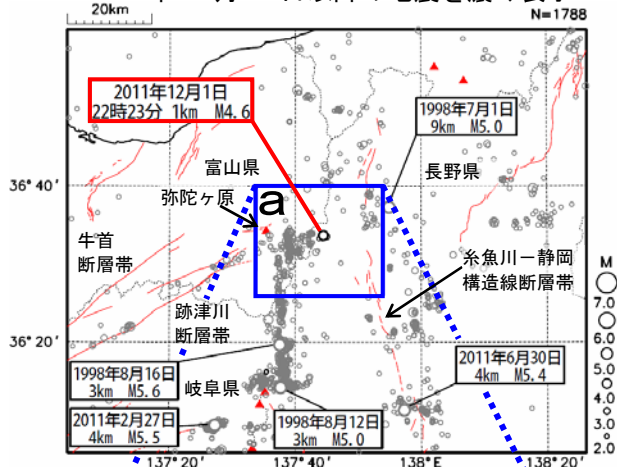


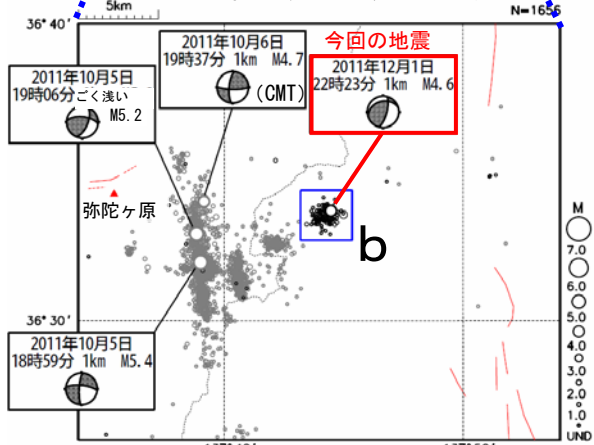
12月1日 長野県北部の地震

震央分布図 (1997年10月1日~2011年12月3日、深さ0~20km、M \geq 2.0)

2011年11月22日以降の地震を濃く表示



領域 a 内の震央分布図 (2011年10月1日~2011年12月3日、M全て)



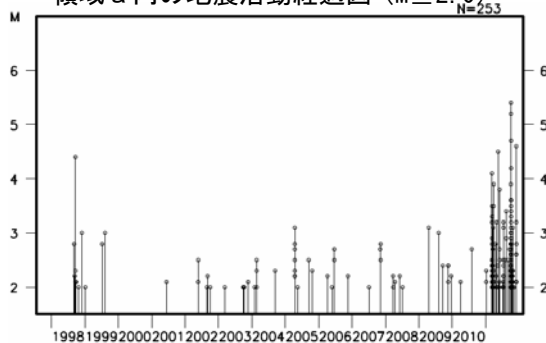
※ 図中の細線は地震調査研究推進本部による主要活断層帯を表示 ▲は活火山を表示。

2011年12月1日22時23分に長野県北部の深さ1kmでM4.6の地震(最大震度3)が発生した。この地震は地殻内で発生した。この地震の発震機構は北西-南東方向に圧力軸を持つ型であった。

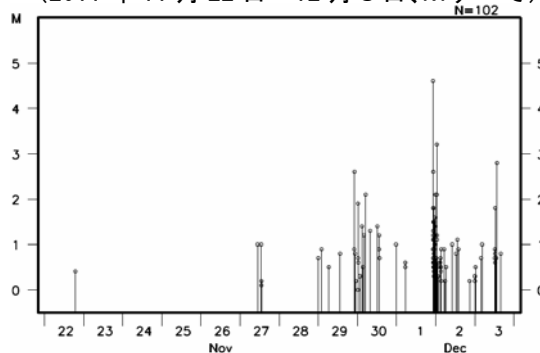
今回の地震が発生した領域(領域b)では、11月29日に発生したM2.6の地震(最大震度1)を最大として、まとまった地震活動が11月下旬から発生していた。また、今回の地震活動のあった領域の西側では、10月にまとまった地震活動が発生している。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域a)では、M4.0を超えるような地震は、ほとんど発生していなかった。

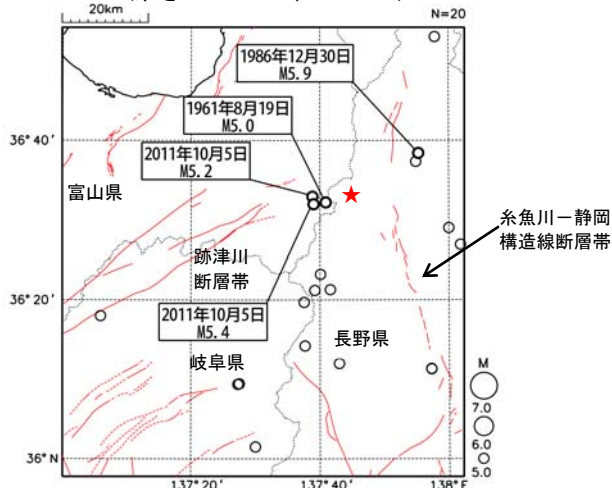
領域 a 内の地震活動経過図 (M \geq 2.0)



領域 b 内の地震活動経過図 (2011年11月22日~12月3日、Mすべて)



震央分布図 (1923年8月1日~2011年12月3日、深さ0~20km、M \geq 5.0)

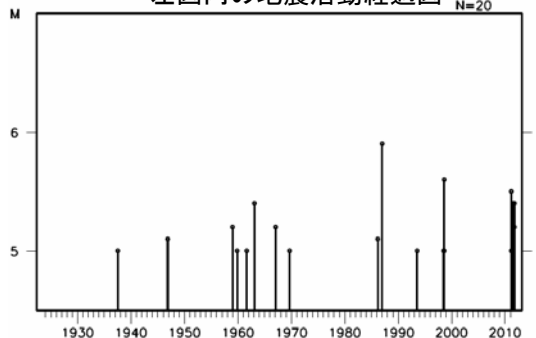


★は今回の地震の震央の位置

※図中の細線は地震調査研究推進本部による主要活断層帯を表示

1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺では、M6.0以上の地震は発生していない。また、1986年12月30日に発生したM5.9の地震(最大震度4)では、住家損壊243棟、道路被害4か所、石垣崩落1か所などの被害があった(「最新版 日本被害地震総覧」による)。

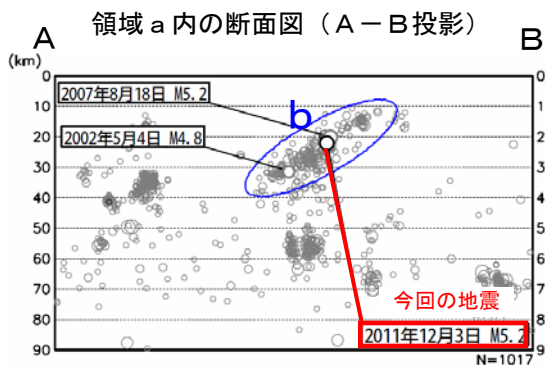
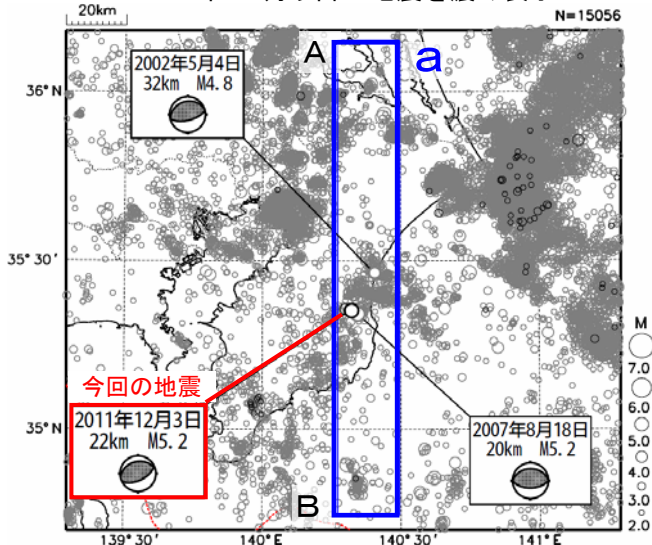
左図内の地震活動経過図



12月3日 九十九里浜付近の地震

情報発表に用いた震央地名は〔千葉県南部〕である。

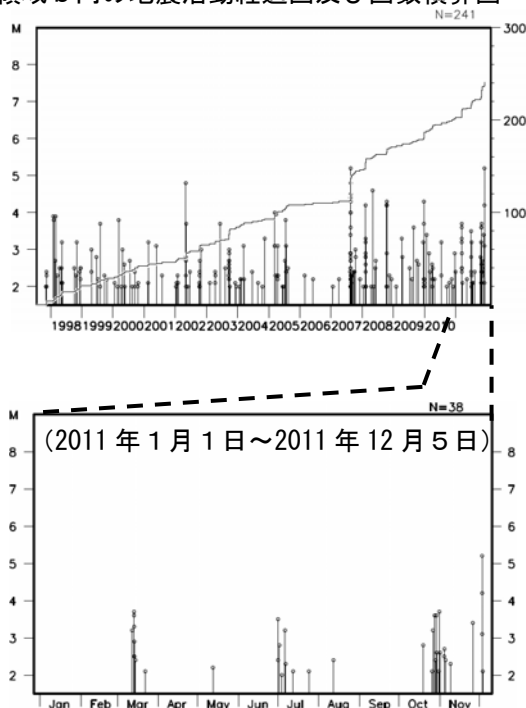
震央分布図（1997年10月1日～2011年12月5日、
深さ0～90km、 $M \geq 2.0$ ）
2011年12月以降の地震を濃く表示



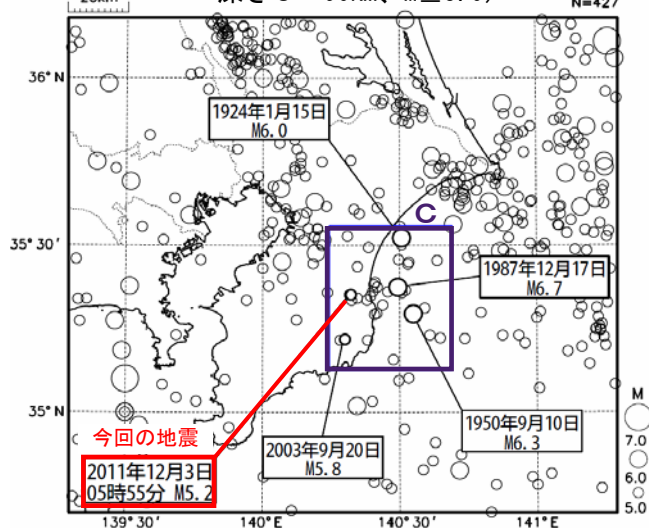
2011年12月3日05時55分に九十九里浜付近の深さ22kmでM5.2の地震（最大震度4）が発生した。この地震の発震機構は北北西-南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した地震であった。この地震の震源付近（領域b）は、2011年10月下旬から活発な地震活動が観測されている領域である。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域b）では、最近のM5.0以上の地震は2007年8月18日に発生したM5.2の地震（最大震度4）であるが、この活動前の約2年間で、M3.0以上の地震が発生していない時期があった。

領域b内の地震活動経過図及び回数積算図



震央分布図（1923年8月1日～2011年12月5日、
深さ0～90km、 $M \geq 5.0$ ）



1923年8月以降の活動を見ると、今回の震央付近（領域c）では、M6.0以上の地震が3回発生している。そのうち、1987年12月17日に発生した地震（M6.7）では、死者2人、負傷者161人、住家全壊16棟、住家一部破損7万余等の被害が生じた。（「理科年表」による）。

領域c内の地震活動経過図

